

九州農政局農業農村整備事業等事後評価技術検討会

第三者の意見（委員長素案）

【八斗木地区】

事業において、地域の特色ある景観を生み出している段々畑の石垣を活かしつつ、区画整理や耕作道路及び畑地かんがい施設の整備がなされ、農作業の大幅な効率化と省力化が図られるとともに、共同育苗等の取組も相まって、雲仙ブランド「八斗木白葱」の生産拡大と品質向上が図られている。

加えて、白葱の輪作作物として、ニンジン等の高収益作物が新たに導入され、生産が飛躍的に拡大し農家所得が向上するなど、効果の発現が顕著である。

また、輪作や土づくりによる連作障害の未然防止・抑制、減化学肥料など環境保全型農業（長崎県エコファーマー認定）等にも取り組まれており、持続的な白葱栽培と経営の安定化の取組が評価される。

特に、「稼げる農業」の実現により、若手後継者の育成や地区外転出者のＵターン、集落内小学校の児童数増加等の波及効果も認められ、地域の賑わい創出に繋がっていることが高く評価できる。

今後は、地域の多様な農産物の直売・加工・料理提供や、石垣、眺望、ヒマワリなど景観資源を活かしたイベント開催など、関係人口の増加や地域の雇用創出に繋がる取組が望まれる。

なお、本地区においては、地区周辺の地下水の硝酸態窒素について基準値の超過は見られないが、農畜産業が盛んな島原半島全体に係る課題である地下水の水質保全に引き続き留意する必要がある。

令和5年度 農業農村整備事業等事後評価技術検討会 第三者の意見【取りまとめ表】

【八斗木地区】

取りまとめ案	意 見
○事業において、地域の特色ある景観を生み出している段々畑の石垣を活かしつつ、区画整理や耕作道路及び畑地かんがい施設の整備がなされ、農作業の大幅な効率化と省力化が図られるとともに、共同育苗等の取組も相まって、雲仙ブランド「八斗木白葱」の生産拡大と品質向上が図られている。 ○加えて、白葱の輪作作物として、ニンジン等の高収益作物が新たに導入され、生産が飛躍的に拡大し農家所得が向上するなど、効果の発現が顕著である。 ○また、輪作や土づくりによる連作障害の未然防止・抑制、減化学肥料など環境保全型農業（長崎県エコファーマー認定）等にも取り組まれており、持続的な白葱栽培と経営の安定化の取組が評価される。 ○特に、「稼げる農業」の実現により、若手後継者の育成や地区外転出者のUターン、集落内小学校の児童数増加等の波及効果も認められ、地域の賑わい創出に繋がっていることが高く評価できる。 ○今後は、地域の多様な農産物の直売・加工・料理提供や、石垣、眺望、ヒマワリなど景観資源を活かしたイベント開催など、関係人口の増加や地域の雇用創出に繋がる取組が望まれる。 ○なお、本地区においては、地区周辺の地下水の硝酸態窒素について基準値の超過は見られないが、農畜産業が盛んな島原半島全体に係る課題である地下水の水質保全に引き続き留意する必要がある。	<古賀委員> ○ネギのお陰でこの地が豊になったというストーリーになると考える。 ○第三者として計画達成に向け何が課題なのか整理が必要。 ○「稼げる農業」というのが大きなキーワード。 ○八斗木白葱は、競争相手がいない、少なくとも島原半島にはいないので、そういう強味の分も増収していくストーリーがよい。 ○連作障害も周期的な課題なので、有効な手立てを考え対応することで、伸びてくると思います。
	<齊藤委員> ○ネギ苗の共同育苗の取組みがは素晴らしいので、何らかの形で加えて欲しい。 ○石垣や景色を役立てることは、今後の課題であり、白ネギのブランド力の強化に役立つ。 ○環境保全型農業とは何か解説を追記して欲しい。
	<能本委員> ○白ネギだけでなく、それを下支えするものとして、ニンジンやブロッコリーなど高収益作物は必要なので、その上で、白ネギをいかに推していくか、下支えするニンジンをどう維持していくか、そういう視点です。 ○八斗木地区にしかない独特の景観、ヒマワリを植えてあるのであれば、それも含めて地域振興に役立てて欲しい。
	<原口委員> ○環境保全型農業の取組みについて「有機資材の搬入」「取組チェック」を具体的に記載して欲しい。
	<豊 委員> ○連作障害のリスクを回避するためにも、白ネギが中心であることには変わりませんが、ニンジンやブロッコリーもしっかり作って欲しい。
	<舩井委員長> ○農業が今後活性化して行くことを非常に望むが、自然環境に触れられていない。 ○地区の方が井戸水を使っていたり、農業が盛んになり肥料をどんどん投入することによる硝酸態窒素汚染がまず心配。 ○第三者の意見の中に、なお書きでもいいので「地下水の保全と管理についての記述」を加えてもらいたい。